

# 平成27年度 事業計画書

養護老人ホーム 大慈吉祥園

## 1. ≪平成27年度法人ヴィジョン≫

- ①経営の強化
- ②サービスの質の向上
- ③教育システムの充実

## 2. ≪基本方針≫

法人の基本方針である「和顔愛語」「上敬下愛」に基づき、ゲストが施設の中で人間として尊厳を保ち、健やかで快適かつ生きがいのある生活が営めるように努める。措置施設として社会的役割を果たせるように努める。

## 3. ≪長期目標≫

- ①ゲストに安心・安全・清潔・安らぎのある環境を提供する。
- ②職員は法令を順守し、人としての尊厳を守り、敬愛の念をもって行動する。

## 4. ≪中期目標≫

職員が安心して前向きに働くことのできる環境と、一人一人が主体性をもって仕事に取り組める職員集団を目指す。

## 5. ≪施設年度目標≫

- ①「改善活動」を推進し、全職員の積極的な気付きを増やす。
  - A) 「小さな改善」を積み上げる。
    - ※) 現在の人員・設備・体制・予算で出来る範囲の「小さく変える」事に絞る。  
ゲストの満足度は損なわず、「簡単、継続しやすい、負担にならない、効果が出やすい」ものにする。
  - B) 改善賞ベスト5を選び、改善提案者を表彰する。
  - C) 改善事例を集め、レジェンドケースに申請する。

### 〈目的〉

職員負担を軽減させながら、コスト削減と介護の質の向上、風通しの良い職場風土を目指す。

- ・活動を行う事で職員間のコミュニケーションを増やし、互いにスキルアップ出来るようにする。
- ・無駄や非効率を職員自らが発見、改善出来るようにする。
- ・報連相の頻度を増やし、意思疎通が出来るようにする。

### ②人材育成の強化

- A) 「職場のルール」を作成、遵守する。
  - ・職員全員で作成する。
  - ・決めたことを決めた通りに実施する。
- B) 笑顔・挨拶・アイコンタクトを常に意識付ける。
  - ・朝のミーティング時に全員で復唱する。

★大慈吉祥園利用者数（定員70名）（女性47名、男性23名） H26年12月末現在

年 性	年								合計
	65～70	71～75	76～80	81～85	86～90	91～95	96～100	101～105	
女	0	3	5	9	13	9	7	1	47名
男	2	6	3	4	6	1	1	0	23名
合計	2	9	8	13	19	10	8	1	70名

最高年齢	100歳	最少年齢	男性66歳	女性73歳	平均年齢	85歳	0か月
------	------	------	-------	-------	------	-----	-----

6. 《栄養科》

<目標>

①食事の面で、ゲストの良い変化、悪い変化を察知する事ができ、食事環境（形態も含む）の変更を素早く行なう事が出来る。

A) 食事アセスメントによるカンファレンスの実施。

②食生活の質を向上。

A) ゲストが目に見えて喜ばれる形を探し出す。

<行事食>

①毎月行事・・・誕生日食、行事食（赤飯）、お好み焼き、バイキング、スナック狸、料理作り、コーヒー喫茶

②年間行事

月	年間行事	月	年間行事
4月	花見 餅つき	11月	焼き芋
5月	母の日	12月	忘年会
6月	父の日	1月	正月料理
7月	七夕	2月	節分
8月	夏祭り	3月	雛まつり
9月	敬老の日		

7. 《看護部》

<目標>

『QOLを尊重した看取りケアの充実を図る』

①看取り導入期の基準に沿ったアセスメントを実践する。

②看取り対象者や御家族の意思を尊重した看取りケアを実践する。

<年間業務>

<週間診療表> 大慈弥勒園に記載。

8. 《理学療法科》

<年間計画内容>

日常生活レベルの向上を目標に、生活リハビリの充実を図り、廃用性によるADLレベル低下

の防止を図っていく。同時に現場との連携を図る事で、緩和治療への呼び掛けをする事で、慢性的な腰痛・肩凝り等の軽減に努める。

<実践目標>

①個別機能レベルの維持

A) 廃用性によるレベル低下の防止 (疾患等によるもの以外)

- ・日常生活リハビリの充実
- ・生活レベルの向上
- ・現場介助対応の徹底

B) 緩和治療の充実

9. 《委員会活動》  
 10. 《衛生管理》  
 11. 《相談苦情の対応》  
 12. 《事務部》
- } ☆大慈弥勒園と同様

13. 《入浴》

曜日	昼入浴	夜間入浴
月・火・水・金・土・日	15:30~17:00	19:00~21:00
火・金 (男性・女性)	10:00~11:45/13:00~15:00	

★くつろいだ雰囲気の中で楽しく入浴できるような支援を行っていく。

- ・仲の良い方との入浴、BGMを流す、壁画を楽しむ等。

14. 《職員会議等》

頻度	会議名		
月1回	正副施設長会議	処遇会議	主任会議
	職員会議	各担当者会議	会計会議
随時	ケアカンファレンス	医務部会	事務部会

15. 《クラブ活動》

行事名	頻度	人数	講師等	行事名	頻度	人数	講師等
レクリエーション	毎日(グループ毎)	5~10名	職員	テーブルカラオケ	週2回	20名	職員
シルバー体操	月8回(月・水曜日)2部分け	40名	村越先生 浦波先生	体操 嚙下体操	日3回	全ゲスト	職員
華道	月2回(隔週)	10名	段先生	ニコニコツアー	随時	3名	職員
絵手紙	月1回	20名	シルバーカレッジ	学習療法	週3回	7名	職員
ビデオ観賞会	第1・3土曜日	6名	職員	麻雀	不定期	10名	職員
書道	月1回	10名	下村先生	朗読クラブ	月1回	20名	職員
園芸療法	月1回	6名	外部講師				

★ゆとりのある多様な活動

- ・行事、倶楽部活動、レクリエーションを実施し、生活が単調にならないよう刺激と生活の潤いを持って頂く。また、四季を感じながらの生活が実現できるよう心がける。

①行事

- ・花見、ひな祭りや端午の節句、柚子や菖蒲湯、夏祭り、クリスマス等の行事で季節を感じられる行事を提供する。(行事食と職員の出し物をトータルで企画し、一日楽しめる企画を立てる。) また、プチ旅行等の外出の機会を年3回以上設ける。

②クラブ活動

- ・ゲストが主体的に参加し、他ゲストとのふれあいや、生活に張り合いが持てるような活動の場にする。

③レクリエーション

- ・写真展、壁画、昭和史等を見ながらの散歩等の運動量をアップさせる。
- ・季節毎の大壁画を作成。
- ・レク係りが中心となって実施。記録と評価を取り、内容を充実させ継続させる。
- ・認知症の悪化防止、改善・維持のため、園芸・学習療法を積極的に取り入れた援助方法を活用し、効果的な介護予防に努める。
- ・認知症の支援に当たっては、その症状の背景や思いを知り、寄り添った支援を目指す。

16. 《年間行事》

月	年間行事名	月	年間行事名
4月	お花見(園内) ボーイスカウト慰問	10月	プチ旅行(美味しいもん食べよう旅行)
5月	母の日お祝い会	11月	にこにこ保育園交流会招待
6月	ろうごの日、外食ツアー(回転寿司)、父の日お祝い会	12月	つぐみ保育園慰問、クリスマス会、イルミネーション巡り
7月	七夕	1月	正月遊び、書初め、初詣(諏訪神社)、新年会、餅つき
8月	神戸花火大会、夏祭り(地藏盆)、夏祭り(吉祥園)	2月	節分、バレンタインデー(おやつ)
9月	大慈園秋祭り、つぐみ保育園慰問、敬老の日お祝い会(喜寿・米寿)、秋の彼岸法要、にこにこ保育園お月見会	3月	雛祭り、ホワイトデー(おやつ)、春の彼岸法要

毎月の定例行事

誕生者会食(第3木曜日)、お誕生日会(第3月曜日)、スナックたぬき(第1木曜日)、お好み焼(第2・4日曜日)、健康チェック(体重・血圧測定)(中旬)、ゲスト話し合い(第2火曜日)、買物ツアー・にこにこツアー(毎週月曜日)、料理作り・(各1回/月)、バイキング(1回/月)、理髪(第2月曜日)、学習療法(3回/週)、園芸療法(1回/月)
---

17. 《職員構成》

施設長	生活相談員	支援員	看護師	栄養士	事務員	介護支援専門員
1名	1名	6名	1名	1名	2名	1名